

「世界的なプログラムに」

弘前 知事と市長、岩木健診視察

宮下宗一郎知事と谷川政人弘前市長は2日、同市の岩木文化センターあそべー



本田技研工業のブースでハンドル操作課題を体験する宮下知事(手前中央)。測定内容を見学する谷川市長(奥左端)ら。

工業や、AI(人工知能)と会話して脳の健康度を評価するマツダなどのブースでは、企業が独自開発した測定機器を体験した。

視察後、報道陣の取材に応じた知事は「岩木健診は本県が誇るヘルスケア事業。健康寿命延伸といった課題に大きな成果、貢献を果たしている。県は今年度、弘前大が研究開発に注力するウェルビーイング(心身および社会的に健やかで幸せな状態)領域でのビジネス化を促進する事業を立ち上げた。弘前大や弘前市などと連携し、世界的なプロ

る。中央公民館岩木館を訪れ、弘前大学が中心となって取り組む大規模住民合同健診「岩木健康増進プロジェクト」(岩木健診)を視察した。視察は知事が昨年に続き2回目、市長は初めて。

知事と市長は、岩木健診を統括する弘前大副学長の村下公一教授の案内で全64ブースを回り、参画企業や弘前大の担当者から測定内容について説明を受けた。ハンドル操作課題で腕の動きをチェックする本田技研

グラムとして展開していく」、市長は「健康に役に立つ結果を出していくことが重要。多項目データを蓄積する岩木健診を続けていくため、弘前大との連携を強化していきたい」とした。(稲葉智絵)